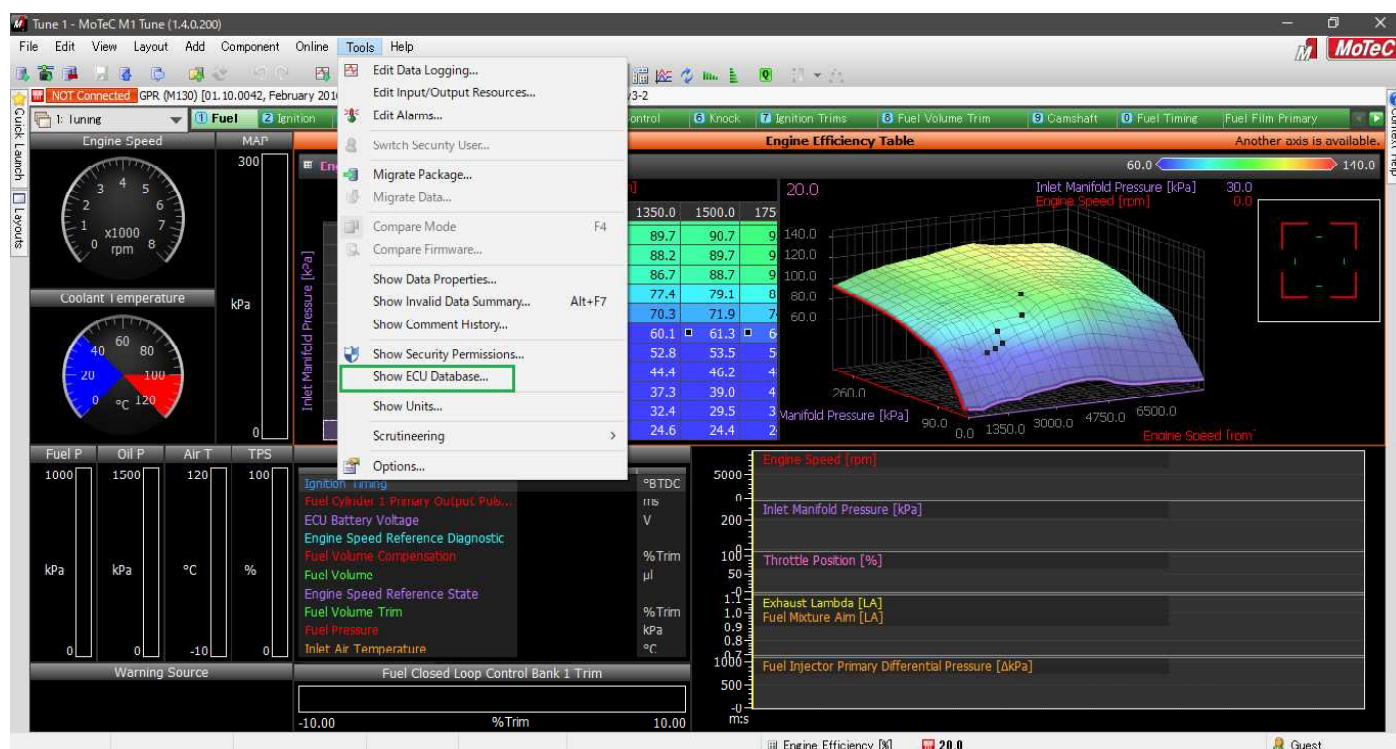


M1 Tune Logging Set Up

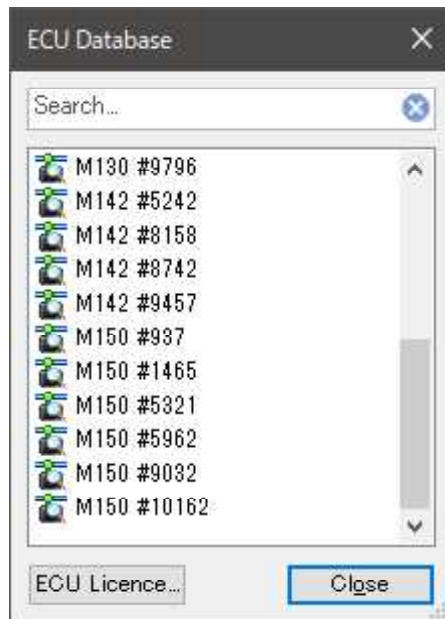
M1 シリーズには、ロギングライセンスとしてレベル1から3までの仕様があります。

| DATA LOGGING | オプションの有無 | ロググループ | 最大サンプルレート | 最大チャンネル数 |
|-------------------------|----------|--------------------|-----------|------------------|
| Logging Licence Level 3 | オプション | 8 | 1000 Hz | 2000 |
| Logging Licence Level 2 | オプション | 1 | 200 Hz | 200 (診断チャンネルを含む) |
| Logging Licence Level 1 | 標準搭載 | チャンネルとレートの変更はできません | | |

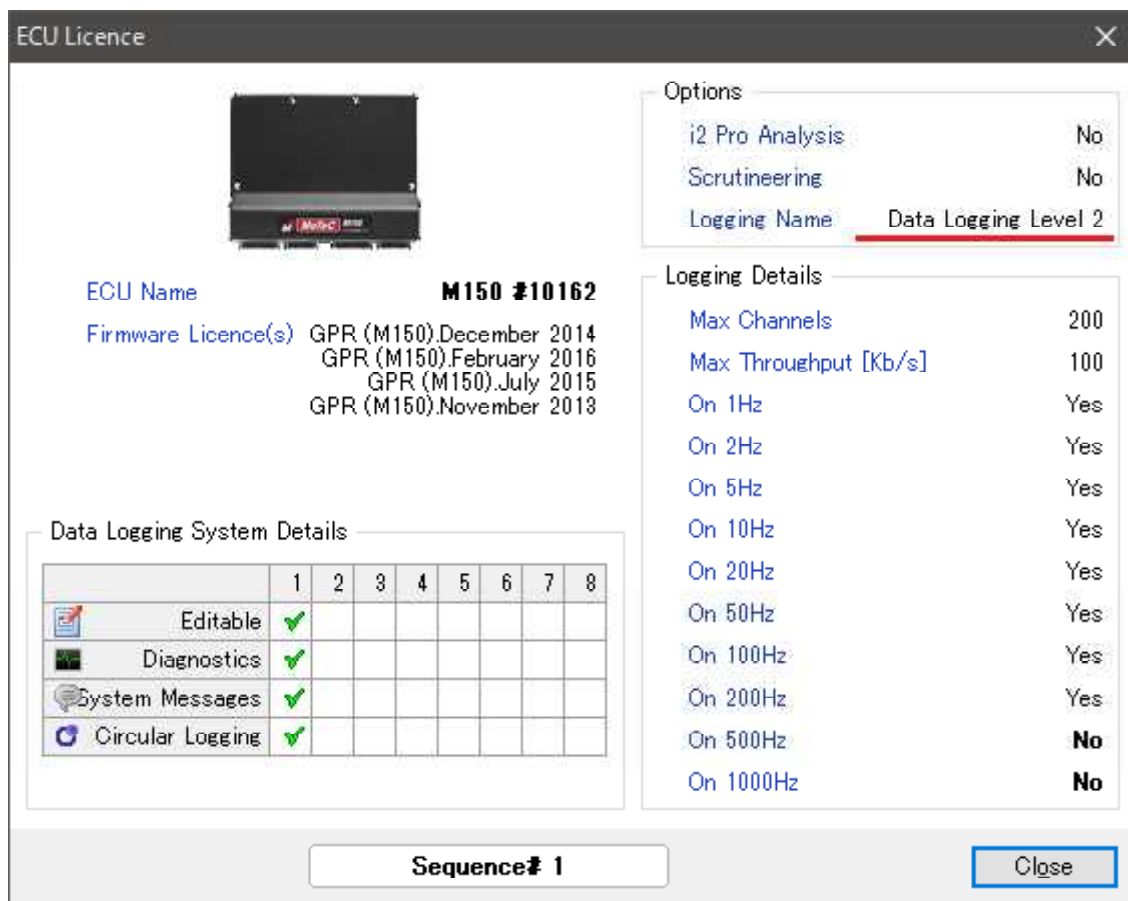
ECU のロギングライセンスレベルの確認方法



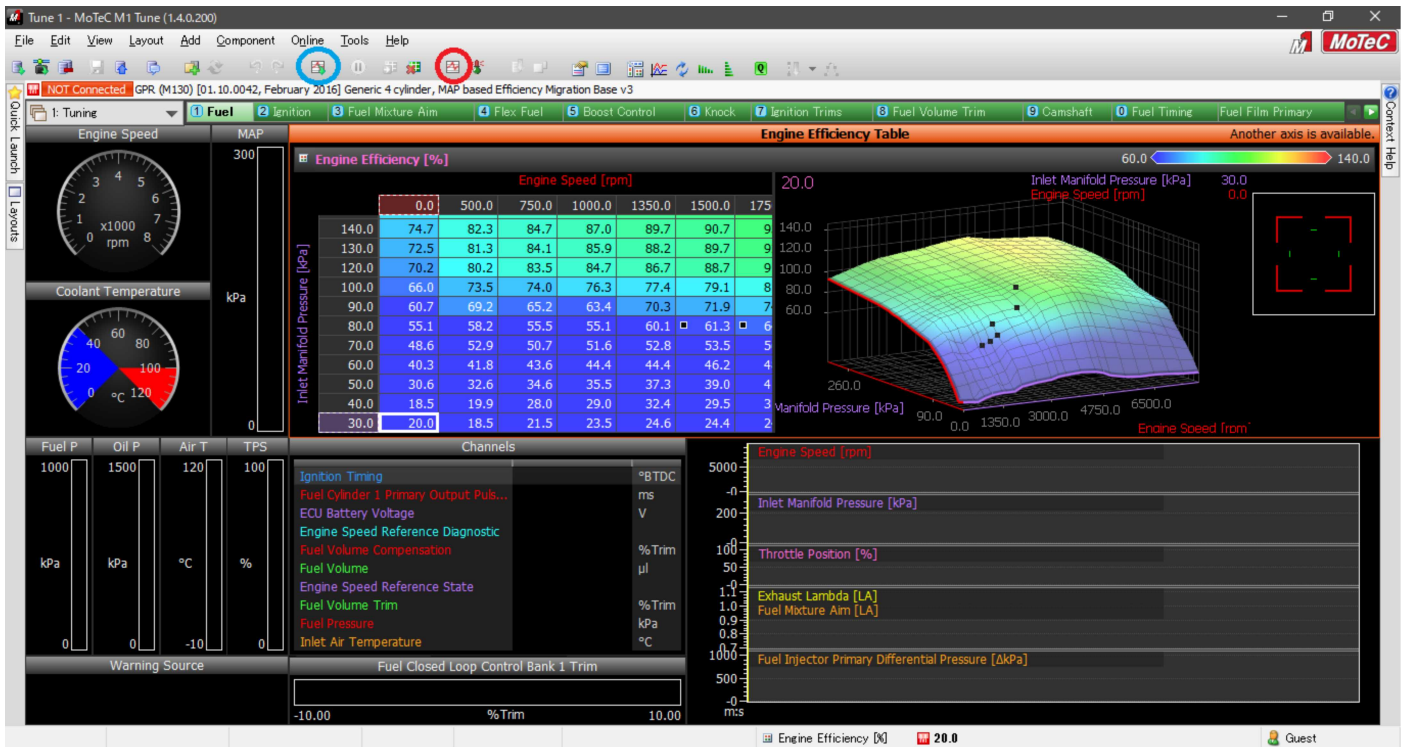
M1 Tune から Tool → Show ECU Database …をクリックします。



過去に接続したことがある ECU のモデルとシリアルナンバーが表示されます。
この中から確認したい ECU を選択します。

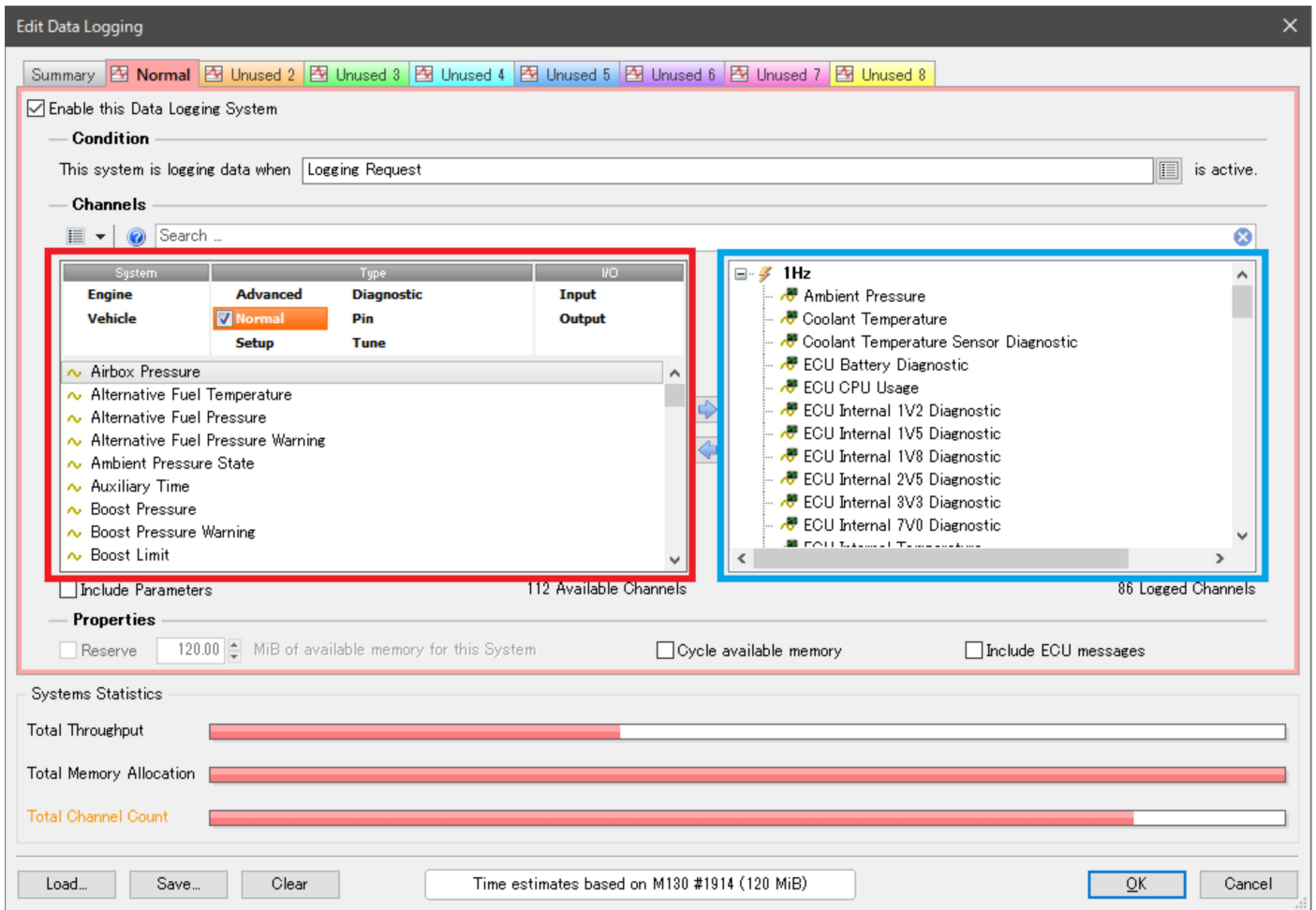


Logging Name の部分に ECU にインストールされているログingleベルが表示されます。



赤○：ロギング設定画面を表示します。

青○（ショートカットキー Ctrl+F8）：ECU内のロギングデータを接続中のパソコンにダウンロードします。



Condition : 選択したチャンネルがアクティブになった時にロギングを開始します

Channels

Search ... : チャンネル名を入力すると、素早くチャンネルを探すことができます。

赤枠 : ロギングに設定されていないチャンネル

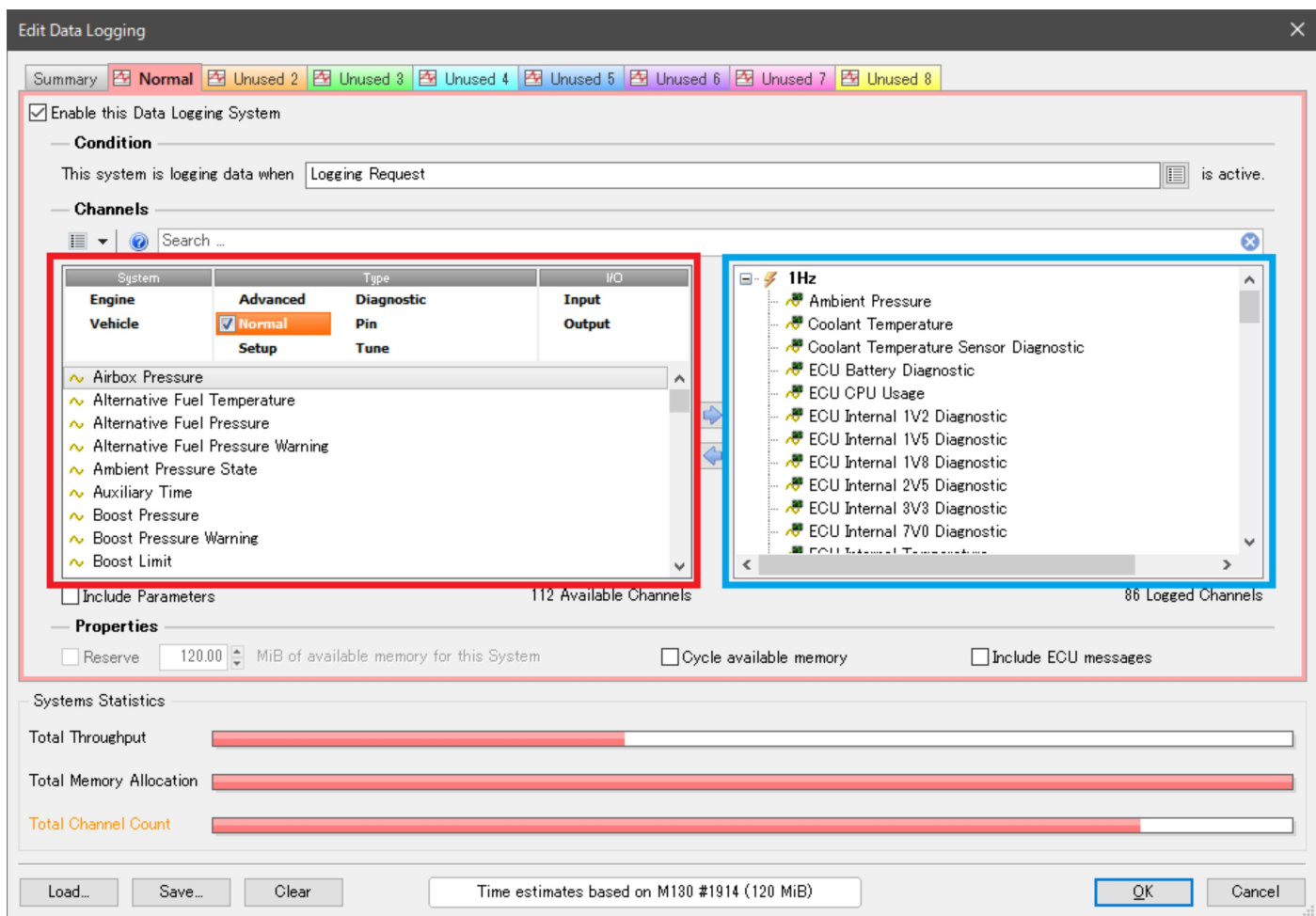
青枠 : ロギングに設定されているチャンネル。ロギングレート (Hz) ごとにグループ分けされています。

下部のバーゲージは、ECU のロギング容量に対して、現在の設定がどのくらい使用しているかを表示しています。
(Throughput もしくは Channel Count が容量オーバーすると設定を完了することが出来なくなります。)

Total Throughput : ECU のロギング処理速度。チャンネル数の追加やロギングレートを上げると増加します。

Total Memory Allocation : ロギングメモリの総容量に対して、各ロギンググループの容量の割合。

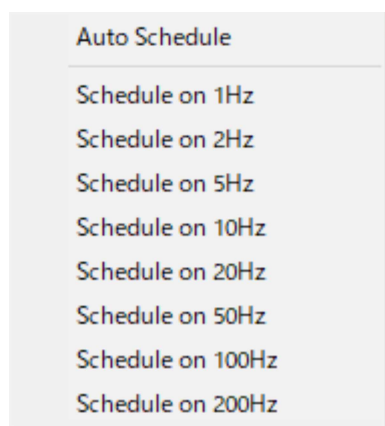
Total Channel Count : ロギング設定されているチャンネル数の使用量。



チャンネルを指定してロギング設定に追加する

赤枠内のチャンネルから必要なチャンネルにカーソルを合わせます。

右クリックを押すとメニューが開きます。



Auto Schedule : MoTeC で指定しているデフォルトのロギングレート (Hz) で自動的に振り分けます。(設定された後でも Hz 数は変更できます。)

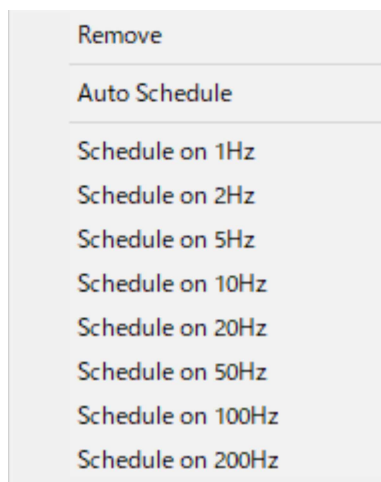
Schedule on xxxHz : 任意でロギングレート (Hz) を指定することが出来ます。

選択が完了すると、設定したチャンネルは赤枠内から消え、青枠内の指定されたロギングレート (Hz) グループに表示されます。

青枠内のチャンネルも右クリックを押してメニューの中から選択することでロギングレート (Hz) を変更することが出来ます。

ロギング設定されているチャンネルを解除する

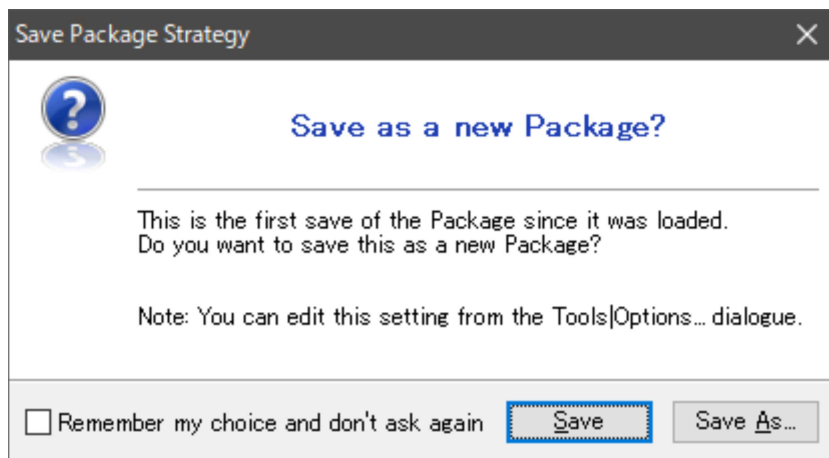
青枠内のチャンネルから設定を解除するチャンネルにカーソルを合わせる
右クリックを押すとメニューが開きます。



Remove : 選択したチャンネルのロギングを解除します。

ロギング設定が解除されると、青枠内から消え、赤枠内に表示されます。

ロギングチャンネルの設定が完了したら、右下の OK ボタンを押して設定を保存します。

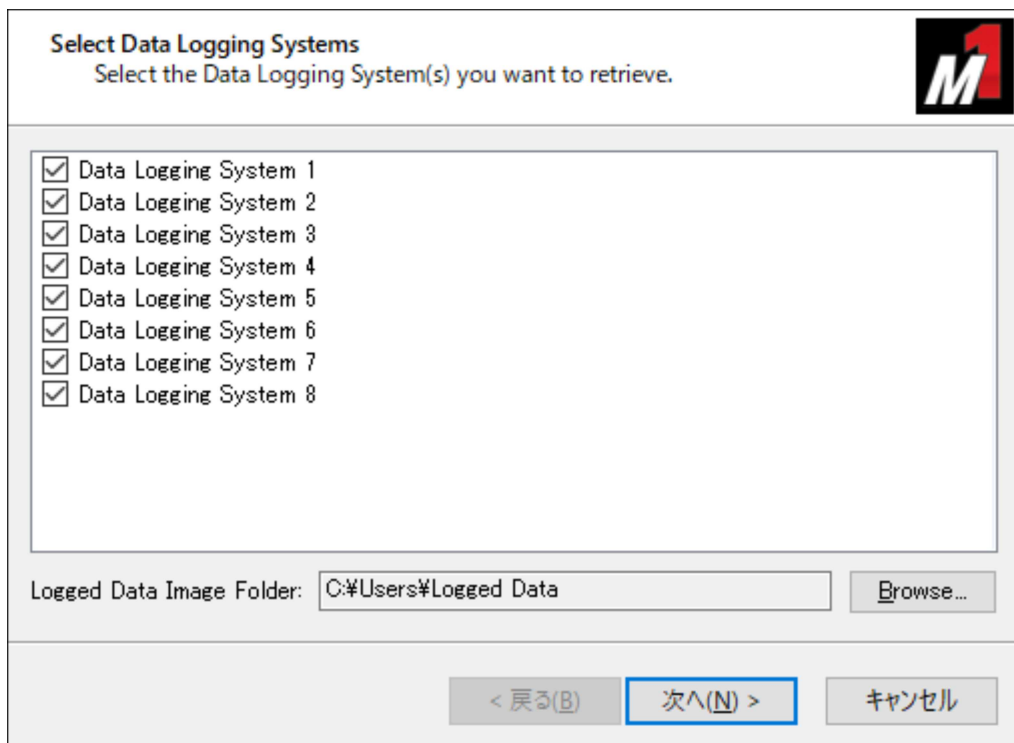


Save : 上書き保存

Save As ... : 名前を変更して別パッケージファイルとして保存

ECU に保存されているログデータをダウンロードする

Retrieve Logged Data ...  をクリックする (Ctrl+F8)



ダウンロードするロギンググループを選択します。

ロガーレベル 1・レベル 2 を使用している場合は Data Logging System 1 にログデータが保存されています。
ロガーレベル 3 を使用してロギンググループを設定している場合は、必要なグループのみをダウンロードすることが出来ます。

Logged Data Image Folder : 後述する ECU からダウンロードしたファイルをコンバートする前の元となる
ファイルを保存する場所。
(Browse ... をクリックして保存場所を変更することが出来ます。)


デフォルトの設定では


C ドライブ

- └ Users
 - └ PC ネーム
 - └ Documents
 - └ MoTeC
 - └ M1
 - └ Tune
 - └ LogImage

のファイルに設定されています。

Erase Data Logging Systems
Select the Data Logging System(s) you want to erase.






All data erased from the selected Log System(s) will be permanently los

- Data Logging System 1
- Data Logging System 2
- Data Logging System 3
- Data Logging System 4
- Data Logging System 5
- Data Logging System 6
- Data Logging System 7
- Data Logging System 8

< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

ECU に保存されているログデータの削除するグループを選択します。

Update Details
Enter any details you want to associate with the data.



Short Comment

Long Comment

Vehicle Id Driver

Venue

Event

Session

Log Data Folder Edit...

< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

ログデータを確認する際に分かりやすくするために、コメントやイベント名、セッション等の情報を追加しておくことができます。

Log Data Folder : 後述する ECU からダウンロードしたファイルをコンバートした後のファイルを保存する場所 (Edit…をクリックして保存場所を変更することができます。)

デフォルトの設定では

Cドライブ

└ Users

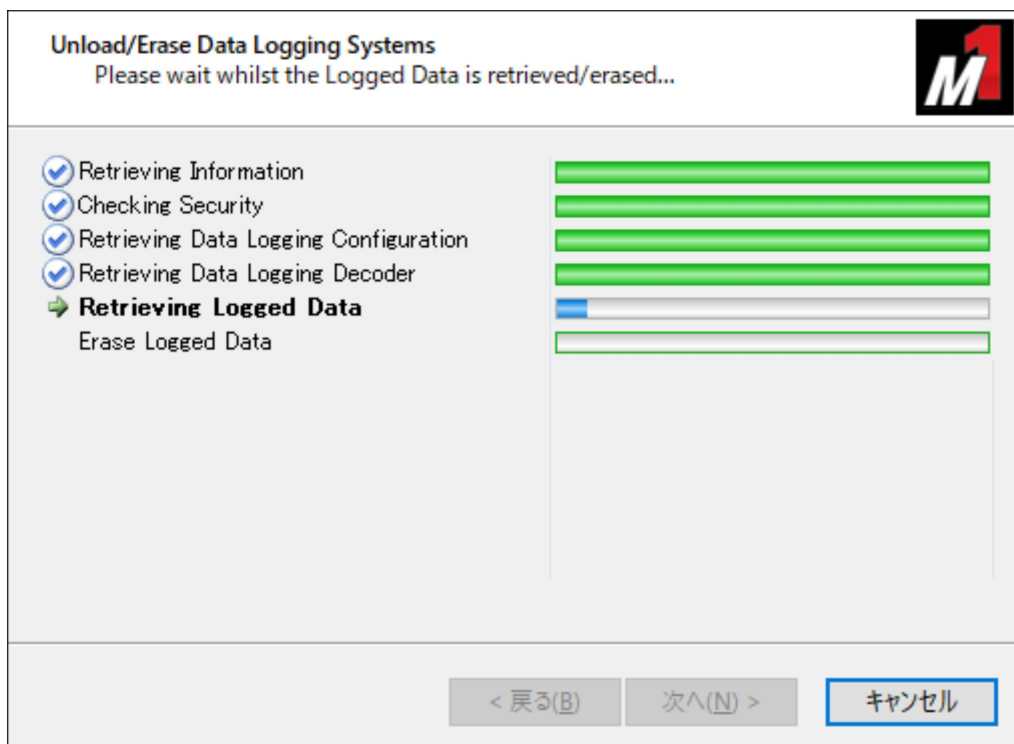
└ PC 名前

└ Documents

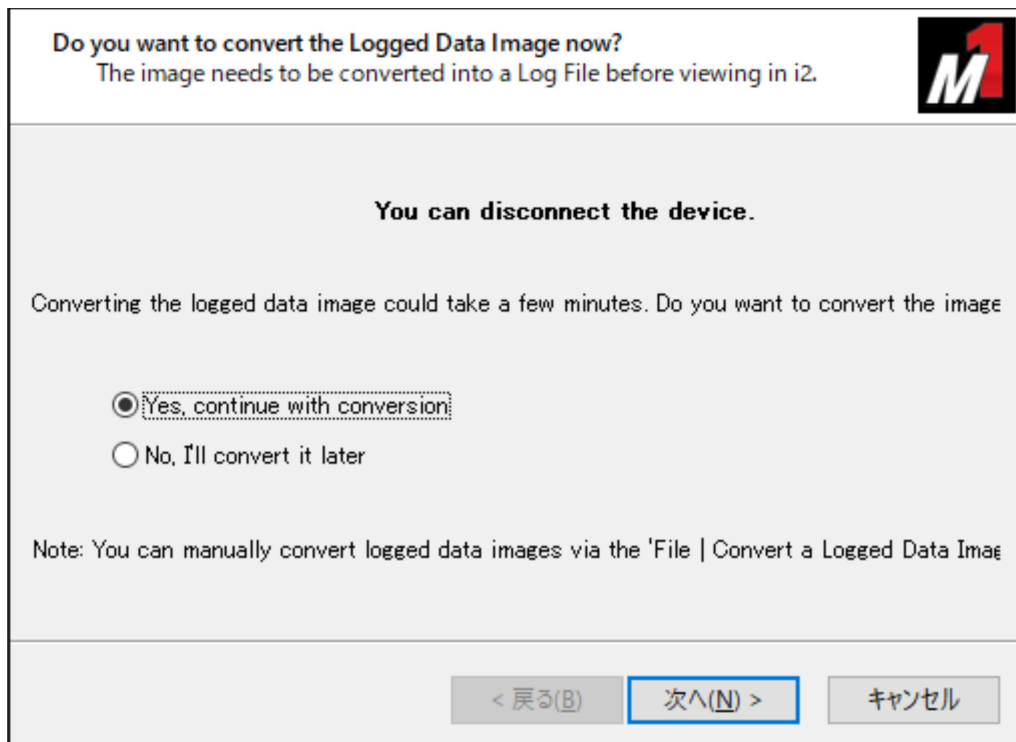
└ MoTeC

└ Logged Data

のファイルに設定されています。

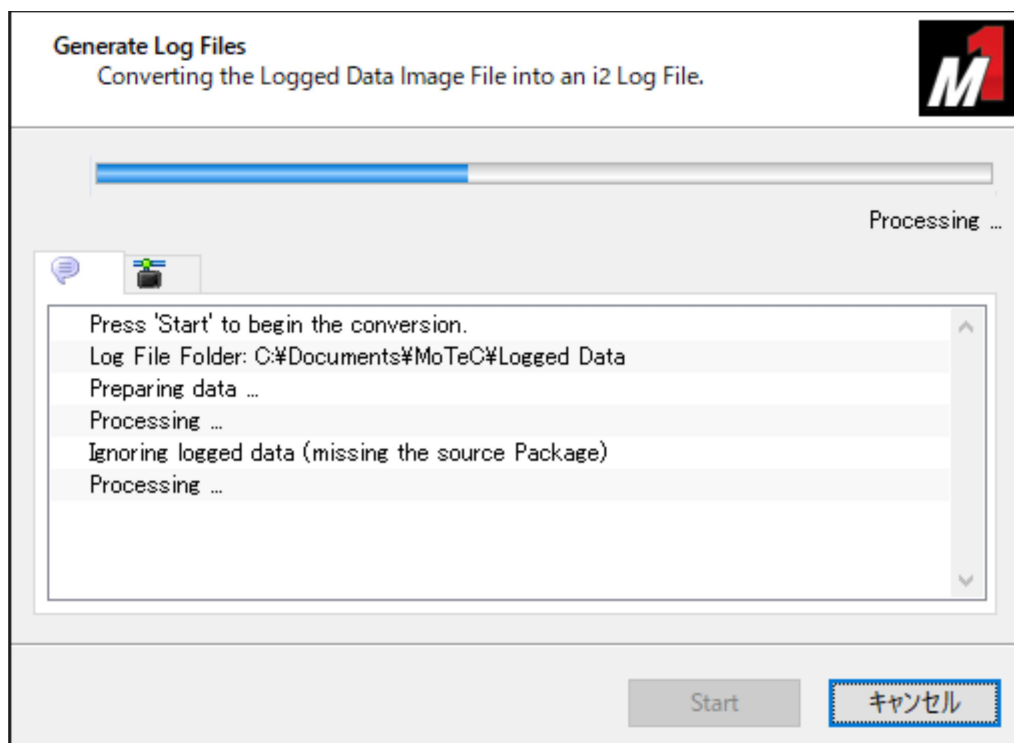


ステータスバーが動き、ログデータのダウンロード状況が確認できます。

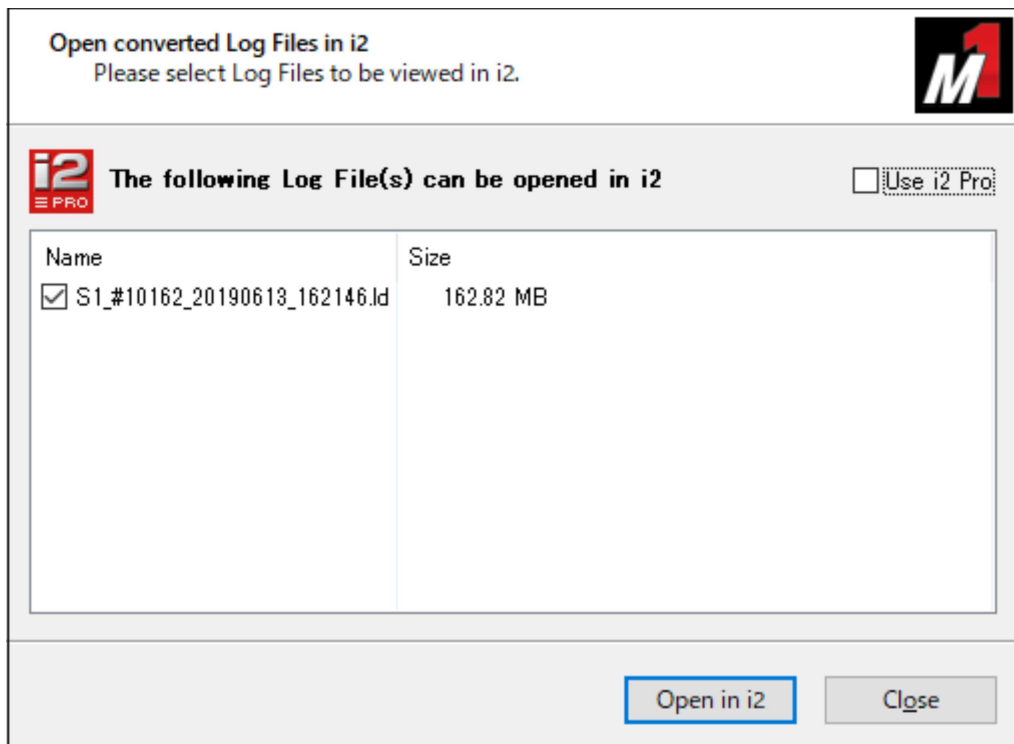


ダウンロードされたファイルはそのままでは MoTeC i2 で開くことが出来ません。
この画面で MoTeC i2 で使用できるファイルにコンバートすることが出来ます。

注：ここでファイルの変更を行わなかった場合は、M1 Tune で File → Convert Logged Data Image(s)…からファイルを選択してコンバートすることが出来ます。



ステータスバーからファイルをコンバートしている状況を確認することが出来ます。



ファイルのコンバートが完了すると、この画面が表示されます。

Open in i2 をクリックするとパソコン内にインストールされている MoTeC i2 が起動します。